

自然資本を活かした地域づくりセミナー

参加費
無料

自然資本 × 地域の文脈

～地域のストーリーから生まれる協働のヒント～

自然資本を活かした地域づくりでは、自然そのものだけでなく、その土地に息づく歴史や文化、暮らし、人々の営みといった「地域の文脈（ストーリー）」を読み解くことが重要です。文脈を共有することで、地域資源の新たな価値が見え、住民や企業、行政など多様な主体の共感と協働を生み出しやすくなります。また地域らしさを活かした持続可能な事業や活動へと発展させる力にもなります。

本セミナーでは、地域の文脈を活かした自然資本活用の考え方と、その実践のヒントを学びます。

2026年

9月18日(金) 13:00～16:45

定員 ※先着順

会場：20名

オンライン：30名

会場 周南市徳山駅前賑わい交流施設 交流室1（山口県周南市御幸通2丁目28番2）※オンライン参加あり（zoom）

対象 ・自然の恵みを活かした地域づくりに取り組んでいる、または興味のある人
・地域おこし協力隊、社会教育士など ・環境省地域循環共生圏関連事業の関係者

セミナー内容

開会・オリエンテーション

基調講演 鹿熊 勤さん／ネイチャー・ジャーナリスト

「BE-PALライターが語る自然資本活用のカギ」
自然を活かした地域づくりを長年取材してきた編集者の視点で、地域の文脈が価値や協働を生み、成功につながる際のポイントを紹介します。

事例紹介 安田 亮さん／島根県美郷町職員

「食べて守る地域の自然資源」
地域に残る地場産業の施設や技術を活かして、地域課題解決に高齢者が活躍する好循環を生み出した、中山間地の取組を紹介します。

Q&A

ワークショップ

「私の地域の文脈を地域づくりに活かすには」

参加者それぞれが自地域の文脈を地域づくりに活かす方策を考え、実現のためのパートナーを探るとともに、周囲のアイデアからもヒントを得ます。

まとめ・閉会

※閉会後に会場にご参加された方には名刺交換の時間を設けます。



基調講演
鹿熊 勤さん

1980年頃より釣り竿片手に全国各地を歩き、森里川海の暮らしと文化に親しむ。豊かな自然とそこで受け継がれたアイデンティティーこそ地方の宝であると確信し、2000年代から地域活性の動向を取材。アウトドア月刊誌BE-PAL（小学館）誌上に、延べ20年にわたり連載を持つ。地域活性関連の著書に『葉っぱで2億円稼くおばあちゃんたち』『移住で地方を元気にする』（共に小学館）。立教大学・同大学院兼任講師（環境・サステイナビリティ論など）



事例紹介
安田 亮さん

島根県生まれ。1999年に町づくりの課から産業振興部に異動したことをきっかけに、単なる鳥獣対策ではなく、それを起点とした地域づくりへと27年間、公私にわたり歩んできました。長年の歩みは、野生動物ではなく“人”に焦点をあてた人と人のつながりを紡ぎ、『山くじら物語』として次々に主人公を登場させてきました。現在は、人口減少・過疎高齢化の波に抗いつつ、新たな物語を展開しています。

共催 中国環境パートナーシップオフィス（EPOちゅうごく）

環境省 中国四国環境局

問合せ 電話：082-511-0720

メール：info@epo-cg.jp

お申込みは
こちら→



EPOちゅうごくは、環境省とNPO法人ひろしま自然学校が協働で運営しています。

※個人情報保護方針（プライバシーポリシー）本申し込みによって得られた個人情報は、EPOちゅうごくにおいて厳重に管理し、本会運営の目的のみに利用し、法令等に基づく場合を除き、第三者への提供はいたしません。また、利用目的終了後、適切な方法で廃棄いたします。